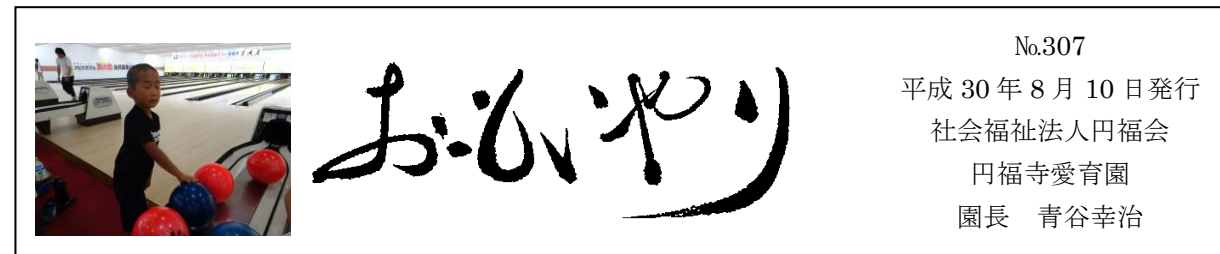


西横田区PTAの行事でも小学生がボウリングを楽しみました



圓福寺庫裡改築

理事長 藤本光世

およそ 160 年余の歴史がある庫裡を改築することができました。

前の庫裡は、昭和 22 年に初代園長藤本幸邦が上野駅から戦争孤児を連れて来て、児童養護施設円福寺愛育園を創設し、子どもたちを育てる施設として利用して来ました。昭和 43 年に現在の地に児童棟「なかよし」を建設するまでのことです。そんな歴史がある庫裡を解体するにあたり、引っ越しや不要物品の運び出しに円福寺愛育園の子どもたちは全力で手伝ってくれました。新しい庫裡ができたのは、子どもたちのお陰です。改めて感謝したいと思います。子どもたちが落ち着いて、人のため世のために働けるようになったおかげでした。



創設時の頃 みんな知っている方たちです

(平成 30 年 8 月 10 日発行 月刊「円福」505 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

今年は創立 70 周年にあたります。円福寺愛育園は 70 年の歴史があって今があります。本堂でお勤めしていた朝夕の「おまいり」は、その内容を発展させて今も談話室で毎日続き、子どもたちの心の柱の育成に資しています。そして毎朝毎夕の職員の声掛けによって子どもたちは生活の指針を与えられています。園舎のあちこちに掲示してある初代園長のことばは、心の方向を示しています。

今、国は社会的養護の方向を「家庭的養護」として、強力に推進しています。独裁支配による社会や一種類に占拠された自然が脆弱であることは、歴史を見ても明らかです。子育ても、これをすれば良くできるという実践事実は示されていません。だからこそ、多様な子育てが容認されるべきであり、それを認める度量が必要でしょう。

「家庭的養護」の推進の中で、円福寺愛育園の集団を生かした中舎制園舎による養育を社会はどのように捉えているのでしょうか。

愛育園の子どもたちは全員が皆勤で学校に通っていますし、大きな問題行動はこの数年起きていません。朝早く起き、残食は無く、みんなよく勉強します。子どもたちは仲よく、笑顔があふれ、円福寺愛育園の生活を楽しんでいます。高校中退者がいないことは勿論ですし、卒園した児童は自立しています。だから、円福寺愛育園の養育は、良い結果を生み出していると言えます。それは、事実として、です。このことは凄いことです。普通、人はこうすれば良くなるのではないかと推測で、進む方向を決めます。「家庭的養護」も同様ではないかと危惧します。なぜなら、家庭的養護で子どもたちが立派に育ち、自立していったという実践結果を聞いたことが無いからです。実践事実がない方向に大きく舵を切るとはどういうことでしょうか。

円福寺愛育園は、戦争孤児の救済を目指した初代園長が、圓福寺の庫裡を使って創設しました。同じように、それぞれの児童養護施設は、それぞれの歴史を背負って今があります。児童養護施設の子育ては、前人未到の高い山であることは昔も今も変わりません。山へ登るルートは、いくつもあっていいでしょう。そして、こうすればうまく登れたというルートが拓かれれば、後に続く人々は登りやすくなるはずです。こうすればうまく登れるだろうというルートでは、遭難が起きる可能性があります。遭難が起きなくても、いばらの道であり、登攀不可能なクレパスが口を開け、ジャングルが聳えているかもしれません。

円福寺愛育園は 70 年の歴史と伝統を生かして、そして平成 12 年に完成した中舎制施設を生かして、さらにこれまでの実践事実を大切にして、これからも子どもたちの利益を最優先して、子どもたちのための施設であり続けます。

ボランティアを通して思うこと

園長 青谷 幸治

先日、須坂市にある轟グループホーム様の夕涼み会にご招待いただき、子どもたちを連れてボランティアに行ってきました。施設長の市川様とは友人を介してご縁をいただき個人的に交流をさせて

いただいていた。

今回、夕涼み会にご招待いただき子どもたちにとっても貴重な体験となりました。

愛育園の子どもたちは、社会福祉施設として外部の方々や地域の方々にご支援を受けています。よって招待行事やいろんなものをいただく機会が多く「人からやっていただく」ことはあっても「人のためにやってあげる。人の役に立つ」といった行為は、いままで少なかったように思います。おっちゃんも常に「世界に尽くせ日本人」と言っておられました。自分のことができたなら人のために尽くす。役に立つ。協力するなど愛育園の子どもたちに人として大事なことを教えていくことが自立の一步だと思います。

そんな中、このようなボランティアをさせていただける機会をいただき、子どもたちが自ら考え、行動し喜んでいただく。そんな一日となりました。

最初に主任さんから認知症についてお話をいただき、利用者さんに対する接し方を学びました。そして夕涼み会では、男の子たちはBBQコンロの炭に火を付けお肉をたくさん焼き、利用者さんや参加された方々に振る舞いました。また女の子は、おにぎりを握ったり、お皿にもったお惣菜をテーブルに運んだりテキパキと行動してくれました。そしてひと段落すると皆でたくさんお肉やおにぎりをいただきました。

子どもたちにとっては、いつもやっている行事の準備に近いものがあり、手際良くできることに普通の顔をしていました。しかし、出席した方々に「ありがとう」「手伝ってもらって助かった」と言われると改めて人の役に立った実感があり、ここに子どもたちの成長を感じました。私も利用者さんのご家族とお話をし、子どもたちが一生懸命やっている姿に感銘を受けていただき、感謝されました。私自身も改めてこの子たちと一緒に生活してきてよかったと子どもたちを誇り思い、養育への手ごたえも感じることができました。

園内の普段の生活では見えないことでも今回のように外で活動することで、園での生活で養ったこ



とが形として現れ、外部の方々に評価されることで養育の方向性や見直しができました。

今回のボランティアには子どもたちにとっても職員にとっても大きな経験であり、成長につながったと思います。一年に1度であってもまた来年参加させていただきたいと思いました。市川様を初め轟グループホームの皆様、そして区の皆様、支援されている皆様方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして片付けまで取り組むのが愛育園の恒例です。最後まで気持ちのいい活動ができました。子どもたちの頑張りに感謝します。ありがとう！！

(子どもたちの感想は9月号に掲載いたします)

あおぞら 松本山雅試合観戦 感想

倉島 誠

7月7日に松本山雅FCの試合観戦へ行きました。18:00の試合開始に合わせて16:30に園を出発しましたが、試合会場はとても混んでいて、入だけでも一苦勞でした。今回の観戦は、いつも部活で忙しく、あまり行事に参加することが少ないA君とO君も参加することができました。特にO君は、今年から中学校1年生になり、慣れない環境の変化や部活や勉強にと毎日へとへとに疲れて帰ってきます。そんなO君が試合が始まると、山雅ファンの人たちに混ざって、一緒に手を叩いたり、声を出したり、応援歌を歌ったりと最近のO君からは想像できないほどの笑顔と元気の良さが見れてとても驚きました。試合の方も2対0で見事松本山雅FCが勝ち、子ども達にとっても、とても楽しい時間だったのではないかなと思います。また、それと同時に、あんなにも多くの人たちが選手の一举手一投足に熱くなれる「スポーツの力」はやっぱりすごいなと感じました。

あおぞら 松本山雅試合観戦 児童感想

7月7日に松本山雅の試合を見に行きました。松本山雅は、2点。違うチームは、0点でした。すごかったです。広かったです。試合を見ながら食べるお弁当は、とてもおいしかったです。

(小2S君)

7月7日に松本山雅の試合を見に行きました。ぼくは、山雅を応援して、2対0で山雅が勝ちました。そのときは、うれしくて涙が出そうでした。ぼくと、T先生とS君で山雅側のゴール裏に行ってたくさん応援しました。楽しかったです。(小5R君)

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

あおぞら行事「マレットゴルフ大会」

あおぞら 近藤誠志郎

7月1日にあおぞら行事として、茶臼山にあるマレットゴルフ場に行ってきました。当日は暑すぎるくらいの晴天となり、私はあおぞらの小学生3人と一緒にコースを回りました。私も子ども達もマレットゴルフをするのが初めてのことだったので、いざスタートしてみるとなかなか真っ直ぐに球を打つことが出来ずに、何度も何度も打つことになりました。結果的に第一ホールはパー4の所をみんな10打数以上もかかってしまい、これからまだまだホールを回っていくのに、どうなる事やらと感じました。しかし、みんな意外にも上達が早いもので、第4、5ホール辺りになってくると5打以内にカップに入れることができるようになったりと、スムーズにコースを回る事が出来始めました。時には決められた打数よりも少ない打数でカップインをして、みんな大はしゃぎしている光景もありました。私が小学生と共にコースを回っていて良かったなと感じた事は、みんなが互いに応援しあってできていたことです。これまでの様子から、互いに「失敗しろ、失敗しろ」となってしまうのかな、と始める前は感じていたのですが、みんながお互いに「がんばれ」や「こうしたらいいよ」と言い合っている姿があり、成長を感じることができました。何かを上手にできる事よりも、今回のように人を思いやれる、そんな人間になってもらいたいと感じさせられました。みんなで楽しくマレットゴルフをすることができ、また成長も感じる事ができ、とても良い一日だったと思います。様々なことに感謝することを忘れず、これからも子ども達と共に歩んでいきます。

あおぞら行事

あおぞらホーム 保育士 石龍

7月1日、あおぞらホームでマレットゴルフを行いました。この日は快晴に恵まれ、きれいな青空の下、とり行うことができました。午前中は小学生の部が行われ、私は午後に行われた中高生の部の引率をさせて頂きました。園長先生にも参加していただき、園長杯の名の下行われ、子ども達は、優勝すべく、とてもワクワクしながら行事に参加しました。

3チームに別れ、私はY君とN君とホールを回らせて頂きました。2人ともパワーが強く、PAR5の所、2打で穴の近くまで飛ばしたり、ミラクルショットを連発していました。しかし、坂の途中にホールがあることもあり、強く打ちすぎて落ちていくボールをみんなで追いかけたり、見失ったボールをみんなで探したりすることも多々ありました。せっかく良いスコアできていたのに、一気に崩れ、気持ちまでが崩れそうにもなったりしましたが、粘り強く、18ホール全て回ることが出来ました。

そして、今回1位に輝いたのは、パーすら難しいホールでバーディーを連発したK君が見事園

(平成30年8月10日発行 月刊「円福」505号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

長杯の勝者となりました。違うグループで回っていたので、直接見る事はできませんでしたが、吸い込まれるように穴の中にボールが入っていったとのことです。ちなみに私は、2桁以上オーバーし、ブービー賞争いという残念な結果となりました笑

とても日差しが強い日で、たくさん汗をかきましたが、最後まで楽しくできたマレットゴルフでした。

あおぞら行事 児童感想

7月1日にマレットゴルフをやりました。1番から15番までやりました。僕たちは5人でまわりました。あなにボールが入った時にとっても楽しかったです。こんどは1番から18番まで、最後までやってみたいです。

(小2 N・S)

7月1日にあおぞらの行事でマレットゴルフに行きました。僕はマレットゴルフが初めてだったのでとても緊張しました。僕はマレットゴルフのボールがとても大きい事にとてもビックリしました。初めてのマレットゴルフはすごく難しかったけど、とてもおもしろかったです。穴にたくさんはいつて嬉しかったです。打つのもとても楽しかったです。初めてのマレットゴルフはとてもおもしろかったので、もう1回行きたいです。(小5 Y・Y)

まごころ行事

まごころホーム 保育士 有賀真知

7月15日、まごころホーム行事が行われました。今回、中高生はボウリング大会と焼肉外食でした。

ボウリング大会では、3ゲームの合計スコアが一番高かった人に園長先生から景品をいただけるということで、子どもたちは1位を目指して白熱した戦いを繰り広げていました。景品をかけた勝負でもあるため、うまくピンに当たらないと悔しがる子どもも



いましたが、誰かがストライクやスペアを取った時には、みんなで立ち上がり、ハイタッチをして

仲間を称賛する姿が多々見られました。

ボウリングのあとは、美味しい焼肉をたくさんいただきました。また、ボウリング大会で1位だった中学生のHさんが、園長先生から豪華な景品をもらい、とても喜んでいました。その際、惜しくも1位にはなれなかった子どもたちも、「よかったね!」「おめでとう!」と声をかけていました。このように仲間の成功を喜べる心を持っていることは、とても素敵なことであり、大事にしていかなければならないと感じました。

みんなで楽しむことができ、子どもたちの素敵な姿もたくさん見られたとてもいい行事になりました。

「まごころ行事」

まごころホーム 井上 はな

7月15日に、まごころ行事がありました。私は小学生の引率をさせて頂きました。行先は戸隠にある、チビッ子忍者村です。当日は晴天に恵まれ、子供たちも元気いっぱいに出発できました。忍者村に到着するともうすでに沢山のお客さんが並んでいました。チケットを買い、2グループに分かれて会場を回りました。

まず初めに手裏剣投げや、吹き矢ができるコーナーに行きました。簡単そうに見えてなかなか的に当たらず、子供たちも私も苦戦しましたが、楽しんで投げることができました。

次に、綱渡りや岩登りなど忍者修業ができるアスレチックを回りました。子供たちは「こわいよー! 助けて」などと言いながらも身軽に修行をこなしていきます。中でもつり橋が気に入ったよう

で、ぐらぐら揺れても平気な様子で、Mさんは3回も4回も挑戦していました。最初は怖がっていたRさんも、「先生、早く来て」と誘う余裕も出てきました。ハードなアスレチックが多い中、子供たちの体力には圧倒されましたし、楽しんでいる様子が見られて嬉しくなりました。

昼食はそれぞれが好きなものを食べました。沢山遊んだのでとても美味しく感じられま



した。

午後はからくり屋敷に行きました。子どもたちは突然現れた人形に思わず悲鳴を上げたり、必死になって扉を探したりしていました。1日中遊んで、みんな「疲れたー」と言いつつも最後までアスレチックで遊んでいて、名残惜しそうでした。

今回の行事を通して、子供たちにまた少し近づくことができたのではないかと思います。一緒になって全力で遊び、楽しい時間を共有することができました。しかし関係性を作ることはまだまだできていないので、行事の前後の生活を大事にして、子供たちと沢山会話をしていきたいです。

まごころ行事 児童感想

15日に、戸隠にあるチビッ子忍者村に行きました。アスレチックやからくり屋敷、手裏剣と吹き矢の的当てがありました。その中で私が楽しかったのは、アスレチックです。綱渡りがゆらゆらして怖かったけど楽しかったです。最高にいい行事になったと思います。(小5、Rさん)

チビッ子忍者村に行きました。チーム名は、ニンニンがんばるチームに決めました。たくさんアスレチックで遊びました。からくり不思議屋敷もやりました。一番楽しかったのはアスレチックの蟻の塔渡りです。蟻の塔渡りはたくさんやりました。アイスも食べました。美味しかったです。(小4、Mさん)

『ボウリング大会』

まごころ保育士 竹内早季

先日、子ども達と職員みんなでボウリング大会を行いました。台風の影響で元々予定していた川下りができずがっかりしていましたが、その気持ちを吹き飛ばすくらいみんなで大わいわいとボウリングで盛り上がることができました。子ども、保育士、調理の先生方が一緒になって3～4人ずつのグループに分けられました。私はAさんと同じグループでしたが、最初思うように投げら



れずに「どうしたらいいの？」と困っていましたが、何回か投げ方を修正しているうちに徐々に真っ直ぐ投げられる回数が増え、そこからは不安そうな表情もなく笑顔を見せてくれていました。自分がストライクをとると一緒に大喜びできてとても楽しかったです。周りのグループを見ても早く投げたくてそわそわしている子や、上手くいなくて少しムスッとしている子などいろんな様子がありましたが、グループの職員が励まして盛り上げていたおかげで最後はどの子どもも楽しそうに投げられていました。これからキャンプもあるので、今回のようにみんなで楽しく力を合わせて盛り上げていけたらと思います。

ボウリング大会

あおぞらホーム 山田 忍



7月29日園のボウリング大会がありました。

この日は当初、赤沢自然休養林にバスハイクへ出掛ける予定でしたが、台風の

予報があった為急きょボウリング大会に変更になりました。

1チーム4人ぐらいに分かれて白熱した戦いを3ゲーム行いおおいに盛り上がりました。

小学生は先日、地区のボウリング大会にも参加したばかりというこ

ともあり、レベルの高い戦いになりました。

中学生、高校生達も思いっきり体を動かしてとても生き生きした顔をしていました。職員も全員参加することができ、とても良い雰囲気で行うことができました。

『ボウリング』

A・O

7月29日にみんなでボウリングに行きました。私はガターありでやったので難しかったです。でもガターに行かないようにできたので良かったです。全部で3ゲームやりました。ストライクは出せなくて残念だったけど、スペアを何回も出せたので良かったです。みんなで楽しい思い出になったので良かったです。また行きたいです。

あおぞらホームだより

あおぞら保育士 宮原徹

1学期が終わりいよいよ夏休みが始まりました。1学期最後の登校日には連日の猛暑の中その日も汗だくになりながら、子ども達は誇らしげに通知表を持ち帰りそれぞれ1学期のがんばった事を話してくれました。それぞれの子どもにとって進級や進学など環境の変化もあり、それぞれが大きく成長した1学期だったのではと感じました。

今年の夏休みは、小学生は小学校のプール登校が猛暑の影響でなくなってしまい少し寂しい様子でしたが、ホームでもプールに出掛けたり、毎朝のラジオ体操に取り組んだり、それぞれの夏休みの宿題や自由研究に楽しく取り組んでいます。中高生も部活がある子は部活の練習に精を出し毎日汗だくになって帰ってきています。またそれぞれ自分の進路に向けて受験勉強や学校見学、ボランティアへの参加や職場体験にも参加し充実した夏休みを過ごしています。

今年は例年よりも気温が高く晴れの日も続き、毎日大量の麦茶を作り熱中症予防に万全を期しています。あおぞらホームの子ども達それぞれが、充実した素敵な夏休みを過ごすことが出来るように引き続き支援していきたいと思っています。

まごころホームだより

まごころホーム保育士 加藤ゆかり

毎日、暑い日が続いていますが、園の子ども達は毎日元気に過ごしています。

先日、1学期が終了しました。本当にあっという間に感じます。この1学期は皆勤賞の子がとってもたくさんいました。園での規則正しい生活あってこそ、皆勤賞だと思います。愛育園の誇りです。通知表でもそれぞれの1学期の頑張りがとてもよく見えて、嬉しく感じました。

夏休みが始まり、園内はとてにぎやかです。毎日宿題をどんどん進めたり、職員のお手伝いをしてくれたり、水遊びをしたり、プールに出掛けたりと、とても有意義な夏休みを送られているように感じます。中学3年生の子ども達は、高校進学に向けて、毎日の受験勉強はもちろ



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

んのこと、体験入学に行ったり、夏期講習に行ったりと、大忙しです。毎日の受験勉強、時には逃げ出したくなる日もあるかと思いますが、それぞれの夢や目標に向かって、この夏休みは是非頑張っ

てほしいです。

例年以上に暑い夏ですが、子ども達と一緒に、最高の思い出をたくさん作りたいです。

調理室だより

調理員 加藤 のぶ子

6月中旬より行われていた食堂の改装工事が終わり、空調設備の整ったきれいな新食堂に引越しをしました。仮設での食事はご飯を運んだり、雨漏りがあったりと少し不便でしたが、それも思い出に残ったような気がします。



食堂も空調設備が整いました。子どもたちも快適に過ごしています。

6日☆七夕特別 MENU☆

七夕ちらし寿司、そうめん汁、七夕特別デザート

(平成30年8月10日発行 月刊「円福」505号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

20日☆土用丑の日 MENU☆

うな井、かまぼこのすまし汁、コールスローサラダ

27日☆K君誕生日誕生日 MENU☆

豚キムチ炒飯、アボカド&豆腐サラダ、パルフェ

K君はスポーツ選手への夢を語ってくれました。

29日バスハイク

台風のため、中止となり、夜、リレーマラソン祝勝会

ホットプレートを使って焼肉をしました。

31日☆R君誕生日 MENU☆

海鮮丼、あおさの味噌汁、鶏ささみサラダ、ジュース

近年は異常気象と言われ、高温注意報が出るなど、連日猛烈な暑さが続いています。

毎日の食事をしっかり摂り、この暑さを乗り切りましょう。